# **製造の 教育経営の充実に関する研究グループ**

## 市内共通モデル『学校経営計画』の改善

- \* 今年度の経過
  - 1) 実態調査(アンケート)、分析、更新の実施。(7月~11月)
  - 2) 次年度に向けた完成版の提示。(12月)
- \*ポイントとなる改善の視点
  - 1) 「評価」に学校関係者評価 を反映させる。
  - ・自己評価の内容が適切か
  - ・改善策が適切か
  - 2) 年度の重点教育目標の 達成状況の把握
  - ・「成果指標」=子どもの変容や 成長の視点を示したもの
  - ・「取組指標」=教職員の取組や 指導の手立てを示したもの

を設定

年度の重点教育目標ごとに、「指導の重点」との関わりを明確にする。 年度の重点教育目標の達成状況や取組状況を把握するための評価項目の指標として、「成果指 点教育目標1【知】の自己評価 ・ 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導地域の特色や今日的課題を踏まえた総合的な学習の時間 外国語によるコミュニケーション能力を育む国際理解教育 達成 状況 改善策 評価指標 全ての子どもが基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることが 学習規律の徹底を図る。【教職員自己評価】 達成率3.2以上& 【児童アンケート】3.2以上 業を実現する。【教職員自己評価】 達成率3.2以上&【児童アン ケート】3.2以上 指導過程を、「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ 表現」の探究のプロセスとする。【教職員自己評価】 達成率3.2 指導を行う。【教職員自己評価・分掌反省】 達成率3.2以上

(3)

## 3 市内共通モデル『学級経営案』のH31年度の完全実施

- 1) H30年度先行実施校 →風連中央小、智恵文小
- 2) ミドルリーダー研修会での意見交流。 改訂版の作成。

H31年度市内小中学校で完全実施。

- 3) 「具体的な手立て」欄の表記の数値化。
- 4) 数値化された「具体的手立て」を受けた

「学校経営1回」と「学年・学級経営家」の「接導の重点」欄の関連について								
学校经营相离	学級经营案							
1 主体的 対路で深い学びによる確かなける 育む学習経済								
2 豊かな心を育む道部質								
3 個と集団のよさを実際する特別の動	**							
4 地域の特色や今日的課題を2替えた総合的な学習の時間								
5 自己をよりよく等く生ま指導								
6 一人一人のニーズに応じた特別対象を育	1 1 to 1							
7 よりよい生き方を目指すキャリア教育								
8 外国語によるコミュニケーション能力を育む国際野務教育								
9 情報活用診支育な情報所有	(#							
10 生命を育び、自ら心身を損失る健康教育								
11 地成の特質を生かしたへき地 複成教育								
12 自主性や主体性を育な部を動								

		911 	立〇〇学	X .	和		WILL THE	学級経営	: <b>*</b>
т	学級目標		実態に合わせ「学年経営 こでもよい。		朗红:	0000	000	男子〇〇名 女	子00名 計
1	子和父曰1景		年度の重ね	- AV-6	日種			学級目	煙
	学校教育目標	l lá		NASA H	HUK	١.		3,00	rus
								C	(薬)の場合(お学
		領	学校の重点教	育目膝	555			標となる	米山の瀬口は子
		<b> 7</b>  -				7			
		[4	1						
⊥									
П	学級の実態								
学習									
品	1								
生									
活	1								
面体									
力									
面									
そ									
の他	学校の実態に合わせて削除してよい								
100									
Ш	「年度の指導の重点」を実	見す	るための「具体	栤汐	ょ手:	אַ כוץ	<b>その</b>	「成果と課	頣
	# (1) 主体的・対話的で深、学 (4) 地域の特色や今日的課題   18) 外国語によるニュニケー	拉姆	まえた総合的な学	習の時	育				
					No.	<b>油炭炭</b>		成果又过網頭	(改善策)
	学 3				# ① ■ ②	Δ			
	期 ■ 年度の指導の重点を受け、	B/+W	t-Edy		1 3	0			
	4月受りが辞得りり里点を受け、			l l	類				
4-п	てを記さる。可能な限度			A 12	No.	速划规		成果又は開發	(改善策)
知	する。(指導の重点の評価	準方:	47-104里	- A	(1)				
知	する。(指導の重点の評価)	準方: )			0	0		ODUBALHUSEL	A (THE
知	する。(指導の重点の評価)	準方: )				Δ	_	〇の場合は成果を 合は改善策を記述	
知	2 <b>対</b>	準方: )			0	0		<b>金石配金乗送ない合</b>	<b>が</b>
知	2 的 学 な 対	準方: )			(1) (2) (3) (3) (3) (No.	△○○○		台北坡美統領改	\$3.
知	2 的 する。信仰の単点の評価値 テストで観査を参考にする。 「から番号をつれる。現故 東郊 こよるかの郷よれ。	準方: )			① ② ② 数 Na Na	△ ○ 連続以兄		おける	村画の各項の連
知	2 的 学 な 対	準方: )			(1) (2) (3) (3) (3) (No.	△○○○	率、核	台北坡美統領改	ける。 計画の各項の達 や学校評価、各

## 2 市街地校へのCS導入への取組

- 1) 名寄市CS導入の経緯と今後の流れ
  - 6月 校長対象のアンケートを実施
  - 8月 CSの市内地区割りの確定

△智恵文地区:智恵文小・智恵文中 △東地区:名寄東小 △風 連 地区:風連中央小・風連中 △西地区:名寄西小

△北 地 区:名寄小・名寄東中 △中名寄地区:中名寄小

△南 地 区:名寄南小・名寄中

10月 CS制度説明会:文化センターにて2回実施

#### <u>平成31年</u>

学校運営協議会委員予定者への制度説明会 2月

4~5月 第1回運営協議会・委員委嘱承認

#### 2) 市内の現状

- ① 智恵文地区はH29年4月、東地区はH30年5月、中名寄地区はH30年6月より、 それぞれ学校運営協議会をスタート。
- ② 風連地区~風連中央小学校運営協議会がH30年4月よりスタート。 次年度、風連中との合同の運営協議会を発足。準備を推進中。
- ③ 西地区~9月、地域関係者やPTAを招聘。CSに関する説明会実施。推進委員会を発足。
- ④ 北地区~小中学校の管理職による検討委員会を10月に実施。推進委員会の計画を作成。
- ⑤ 南地区~小中合同会議を11月に実施。推進委員会の計画を作成。

**(**4**)** 

## 成果と課題

#### 【成果】

- 市街地校のCS導入を市教委と連携し推進。
- ○「ミドルリーダー研修」を中学校の教務主任・主幹教諭を加えて実施。
- 市内共通モデル「学校経営計画」 更新に着手。
- 市内共通モデル「学級経営案」のH31年度完全実施にむけた取組 を推進。
- 北海道・道徳教育研究大会が旭川市で開催されたため、多くの委員

### 【課題】

- ▼「学校経営計画」「学級経営案」の実態調査を実施。PDCAを機能させた継続的な バージョンアップを確実に実行する。
- ▼ 困り感のある児童生徒が在籍することを前提とした学級経営の充実について、具 体的な成果及び取組指標等のモデルを提示する。
- ▼ 限られた予算等の条件を考慮し、より有意義な先進校視察の在り方を検討する。
- ▼ 小中それぞれの文化の枠を越え、より具体的で実効性のある小中連携に取り組む。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向け、ミドルリーダー研修を機能させ、市内で 協働した取組を推進する。
- ▼ 各種指定事業に基づく実践交流のとりまとめを行う。